

令和7年度 医療法人敬愛会准看護学院
自己点検・自己評価結果について

1. 目的

本学院の教育水準の維持・向上及び学院運営の活性化を図ることを目的とする。

2. 評価の方法

教職員を対象に、「3.当てはまる」「2.やや当てはまる」「1.あてはまらない」を評価基準とし、項目別に判断又は課題を示し評価した。

3. 自己点検・自己評価の結果

項目	評価点
I.教育理念・目的・教育人材像	2.88
II.学校運営	2.88
III.教育活動	2.61
IV.学修成果	2.38
V.学生支援	2.70
VI.教育環境	2.14
VII.学生の募集と受け入れ	2.94
VIII.財務	2.75
IX.法令との遵守	2.38
X.社会貢献・地域貢献	2.50

4. 項目ごとの評価

I. 教育理念・目的・教育人材像

教育理念・教育目的・目標は、本学院の教育上の特徴に留意して設定している。これらを学習の指針として、社会のニーズを踏まえ就労と学業の両立を果たせるよう、教育活動を行っている。

II. 学校運営

職業教育における目的を共有し、重点目標を定め運営を行っている。本学院の運営に関する意思決定システムが明確になっている。教育活動に関する情報をホームページで公表している。

III. 教育活動

学生の年齢層は幅広く、就労と学業の両立を行う学生が継続して学習できるカリキ

ュラムを実施している。実状に応じて次年度からのカリキュラム変更も行った。教員のキャリア形成支援体制があり、継続的に教育の質向上につながるよう取り組んでいる。

IV.学修成果

本学院は生命の尊厳と人格を尊重し、看護に必要な知識・技術・態度を身につけた准看護師を育成することを目的としている。

今年度の准看護師資格試験合格率は100%であった。

V.学生支援

定期的に面談を行い、学生の状況を個別に把握し、必要に応じて相談・指導を行っている。経済的支援は、敬愛会独自の修学資金制度やその他公的制度の相談・手続きを行っている。健康診断やスクールカウンセリングを実施し、心身の健康保持に努めている。また、卒後の相談に応じている。

VI.教育環境

令和5年度に校舎を新築し、学習環境を大きく改善した。臨地実習においては、実習先の指導者と目的や指導に関する情報共有や意見交換を行っている。今後も実習先の理解を得ながら、より多くの経験や学習ができる機会となるよう取り組んでいく。

VII.学生の募集と受け入れ

ホームページやパンフレットを活用した広報活動を行い、入学希望者に必要な情報を提供している。入学試験は、試験内容の異なる2つ入学試験（11月、1月）を実施し、学生の募集と受け入れに努めている。

VIII.財務

医療法人敬愛会が運営する事業所として、経費節減に努め適切に運営している。

IX.法令との遵守

看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに基づき運用している。自己評価を実施しホームページ上で公表を行った。この結果を今後の教育内容の向上に活用していく。

X.社会貢献・地域貢献

ボランティア活動や防災訓練参加など地域の資源を活かした教育活動を継続して取り組んでいる。学生の社会性を養う上でも必要な活動であり継続していく。

5. まとめ

本学院の教育の向上を目指し、全職員が自己点検・自己評価に取り組んだ。この結果を踏まえ、「取り組み、振り返り、さらなる改善へ」と継続的な取り組みを進める。